

## 6月定例会を 振り返って

会派の意見

### 市民クラブ

岡崎市長も

「解釈改憲には、無理がある」

トップ質問者の近藤強議員に対し、市長は、解釈改憲には無理があり、その読み方は時の政権次第で変わる可能性もある。

憲法は国家権力を縛る立憲主義が基本であり、拙速な議論で強引に決めることには反対と答弁。

長尾和明議員の集团的自衛権の限定的行使についての質問に、現行の憲法規定では認められるものではないと答弁。また、市営住宅再編計画に関し、屋上ソーラーパネルの設置については、災害時に持つべき機能等を整理した上で前向きに検討と答弁。

門田権四郎議員の地域コミュニティの再構築に関する質問に、住民と意見交換できていない18地区は7月中に説明会を、説明会が済んでいる19地区は具体的な協議を行い、地域内連携協議会の早期設立に努めると答弁。

岡崎豊議員の誠和園の今後に関する質問に、津波被害を回避できる場所への早期移転が必要で、財政面や運営面は民立民営方式が有効ではないか。また、要保護者の最後のセーフティネットとしての役割を果たすのが行政の責務と答弁。

### 新こうち未来

個人質問に福島明議員、氏原嗣志議員、川村貞夫議員、上田貢太郎議員、浜口卓也議員が登壇

福島議員は、ヨネッツこうちのレッスン有料化について無料にすべきと提案。また、南消防署移転先として筆山町市営住宅跡を提案し、最優先候補地として協議を進める旨答弁があった。氏原議員は、春野あじさい街道再生の必要性を提案し、3カ年計画にて再生させるとの力強い答弁があった。また、野中兼山生誕四百年の記念行事実施を提案した。川村議員はフッ素うがいによる虫歯対策を提案し、啓発活動や実施に向けた支援を行うとの答弁があった。また、ヒートショック対策として普及促進されている木質断熱材を、市営住宅に採用すべきと提案した。

上田議員は、桂浜の再整備に合わせ、土佐の偉人をたたえる偉人館創設を提案した。また、移住促進については、成功例だけではなく失敗例の提示も必要と訴えた。浜口議員は、平成27年4月1日に高知工科大学経済・

マネジメント学群が新設され、高知市永国寺キャンパスに移転することに伴い、本市としても連携すべきと提案した。

### 新風クラブ

個人質問に平田文彦・水口晴雄の2氏が登壇し、市長の政治姿勢や南海地震対策、教育行政などについて話した。

本年度導入した同時入所第2子の保育料を無料とする施策について、私立幼稚園に通う幼児にも拡大すべきでないかと話した平田文彦議員に対し、岡崎市長は「来年度からの子ども・子育て支援新制度では、私立幼稚園の保育料は現制度の保育所と同様の考え方になる。保育所と幼稚園の制度間の格差を調整し、2015年度の予算編成作業で実施に向けた具体的な検討を進める」と答えた。

土佐電鉄と県交通を清算し、発足する新会社と県と関係市町村が出資する10億円が適正かどうかをただした水口晴雄議員に対し、吉岡副市長は「高齢化の進展などで公共交通の役割は一層重要となる中、新会社は、金融機関から最大限の債権放棄を受けてもなお約11億6800万円の債務超過となり、このままでは取引関係の維持・継続が不可能となる。今後の設備投資も含め、事業再生と安定経営の観点から出資の必要性についてご理解いただきたい」と答えた。

### 日本共産党

集团的自衛権反対の意見書可決  
市民参加で公共交通の再生を

細木議員は集团的自衛権、大飯原発差し止め判決の意義について市長の認識を問う。公共交通で出資者となる市の責任と職員体制の充実などを質問し「体制強化に配慮した人事を検討」へ。署名が1万筆を超えた中学校給食の早急な実施を求め、市長は「重さを感じる」「実施の判断は教育委員会」と答弁。江口議員は国の子育て新制度に伴う市の条例化について、企業参入を自由にし保育に格差が生まれると指摘。市長に現行の保育水準を後退させないと約束させる。保育認定と入所申請の一体的運用や空き情報を提供する体制を求め「利便性を考慮した申請方法を検討」へ。岡田議員は

解釈改憲、法人税減税問題で認識をただす。資源ごみの所有権、売却益を明らかにし市民への還元を求め、排水機場管理委託で契約不履行に対する市の判断と監査を指摘。地域防災での「要配慮者」対策の遅れをただした。

### 公明党

喫緊の課題に思いをはせ質問

寺内憲資議員は、保育園に同時入所している第2子の保育料を無料としたことから、幼稚園に通う子どもたちへの支援を市長に要求。国が第2子の保育料

を半額にする方針であるため、残りを市として保証すべきであると市長に強く迫りました。

高橋正志議員は、今後の推進が望まれる「高知市公共施設マネジメント基本方針」について質問し、本市の老朽化した公共施設等が効率的・効果的に整備されるよう「財政の見える化」を要望。執行部から実施に向けた前向きな答弁がありました。高木妙議員は、放課後児童クラブ、「視覚」に関する検査やカラーユニバーサルデザイン、タウンモビリティ等について提案しました。執行部からはそれぞれ前向きな答弁を導くことができました。

### みどりの会

近森議員6月議会の強烈質問

- ①高濃度PCB処理終了します
- ②日曜市の再生計画始まります
- ③競輪場の廃止論にストップを
- ④市教委SNS教育を始めます
- ⑤猫の去勢不妊治療費増額確保
- ⑥ツガニを土佐の上海蟹に改名
- ⑦保健所指導を市民目線に変更

